

平成29年度 こばと幼稚園 教育活動等に対する学校評価書

平成30年1月

学校法人 法城学園 こばと幼稚園 園長 稲葉俊英

1 幼稚園の教育目標 …… 明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 … 夢中になって遊ぶ子

- ・3歳児：友達と仲良く楽しく遊ぶ
- ・4歳児：遊びに喜んで取り組む・友達と一緒に楽しく活動する
- ・5歳児：進んで活動に取り組み、最後までやり通す・感じたこと考えたことを表現する

※評価点 4(十分に成果があった)・3(成果があった)・2(少し成果があった)・1(成果がなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
1. 保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	2.8	年度当初職員全体で理解を深めているが勉強不足である。	3.2	体を使ったアクティビティやイベントが多いことについては評価したいが、年長さんについては机に少し長い時間座って何かを学ぶ時間というのを取り入れて頂けると、卒園後の学校生活へもプラスになるのかなと思う。 教員の実習などはやっているのか。駐車場の問題はどうか。 先生が一人ひとりのペースを分かっている子どもたちも応援したりして思いやりのある子ばかりだった。 自己評価が低すぎます。もっと自信をもって取り組んでください。 園外指導者(鼓笛)を大いに参考にし授業の立場を高めたい。経験を大切にした指導計画は大変魅力的だと感じますが、教職員アンケートの回答無しと未提出は理解しがたいと感じます。 四季、歳時季をしっかりと意識したカリキュラムのもと活動が出来ている。 園の教育方針を全ての教職員が共通して理解し、園児と接している姿が見られる。元気に学習に取り組む園児が各学年にみられて良かった。
	②幼稚園教育要領を理解していると思う	2	勉強不足である。(無回答6)		
	③園の教育課程を元に保育の計画を立てている	2	計画過程をもとに、確認しながら立てている。		
	④指導計画は教育要領・教育課程・子どもの実態などをベースに考え作成している	2.3	領域が偏ってしまうことも多く意識して計画を立てたい。		
	⑤幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている	2	まだまだ工夫していく余地がある。		
	⑥保育を見せ合い検討・反省・評価を加え子どもの生活と自分の保育に繋げている	1.9	アドバイスや反省点が上手く繋がられているか不安		
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめる	3	どの職員も、様々な角度から子どもたちを視ている。	3.4	先生個々の性格の違いもあると思うが、スキンシップの取り方や、子どもとの距離感に差がある様な気がした。やはり一人の先生に対して20人+の子ども一人ひとりに100%目を向けるのは難しいと感じる。(仕方ない) 皆が全園児の名前をいえるのか。 クラスの子だけでなく色々な子とコミュニケーションをとっていた。先生によって本当に子どもの事を考えてくれていると感じる先生と子どもと距離がある先生がいた。 元気な子どもたちを見て教育が十分行き届いていると感じました。 先生の大きな声が子供の行動に反応する。 先生への信頼度に関するアンケート結果が示すように子どもへの対応は素晴らしいものがある。 アンケートによると評価1.2がそれなりの人数いるが重要な項目であり、その人数は減らしたい。 非常に丁寧に指導、対処しているのが見て取れる。 計画的な指導の基で園児が活動的に集中して取り組んでいる。
	②見えないところで活動している子どもについても、その活動の様子を予測できる	2.4	視野を広くしながらも、子どもたちの世界を大切にしていきたい。		
	③子どもの気持ちに共感しながら、一緒に遊ぶ遊んでいる	2.9	スキンシップを大切にしながら遊びの一員者として遊んでいる。		
	④教職員全員が、全園児について、ある程度理解しているよう様々な工夫をしている	2.9	徒歩通園・学年、異年齢の交流などの遊び・園内研修も大きく役立っている。		
3. 保育者としての能力や良識・適正	①より高度な専門知識や技能を身につけようと研修・研鑽に励んでいる	2.3	努力はしているが、力量としてまだまだ足りない。		

評価対象	評価項目	学校関係者評価委員会			
		評価	幼稚園としての反省と改善策	評価	意見
3. 保育者としての能力や良識・適正	②子どもや、保護者との対応には、公平さをかせないようにする	3.3	どうしても一人につききりにならざるを得ないこともある。	3.5	一人ひとりの先生のことがわからないが、印象として皆平均的な先生という感じがする。例えばスポーツとかコンピューターとか音楽とか外国語のスキルがある先生がいると子どもたちにも刺激になるのでは。年少さんはまだ団体行動が出来ない子もいるから各クラス先生を2人にした方がいいと思う。力量は他人が評価してくれます。自分では力量十分として行動してください。子どもたちが大きな声で伸び伸びと行動している姿は先生方の指導が十分行き届いているからだと思えます。幼児の目線に立っての指導を。一人ひとりの子どもへの声かけ、子どもたちを見る目、子どもが活動した後の温かい拍手をしている先生方が多かった。概ね適正と判断します。明るくあ顔を絶やさず子どもたちと喜びを分かち合える関係づくりが出来ている。個々の園児に対しての適切な指導が全体的にみられる。元氣よく反応する子どもが育てられている。
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.2	体調管理をしっかりとしたい。		
	④教職員全員と親しく付き合い、片寄った人間関係を作らない	2.9	元気に笑顔で挨拶		
	⑤子どものささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる	3.4	担任だけでなく、他の職員も一緒に喜び子どもにかえしている。		
	⑥幼稚園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	2.9	様々なことに目を向け視野を広げていきたい。		
4. 保護者への対応	①個々の子どもの様子は、直接保護者に話したり、電話・連絡帳等を使い伝え合っている	2.4	丁寧に行うよう心掛けている。子どもを知る為の大切な時間になっている。	3.4	自分が知っている先生については欠席したときには夕方電話をくれたり面談等でも色々な角度からのコメントをしてくれるので評価している。例えばどんなクレームがあって、どのように対応したか。先生によって電話のいただける先生とあまり電話をしない先生で差がある。保護者への対応が難しくなっている昨今ですが、臆せず自分の教育信念を続けてください。アンケート結果からみるとほぼ良い感じは受けるが「園での様子を～」の年長の%が少し気になる。来園した保護者に対して丁寧に接していた。アンケートの結果からも幼稚園教職員に対する評価信頼は極めて高い。
	②保護者の要望を受け止めて実行する場合は、教育的な意義付けをはっきりさせる	2.4	今後も、ねらい・目的は何かを明確にし要望等を出来るだけ受け入れたい。		
	③保護者の住所・電話番号など、個人情報の管理については園の方針に従う	3.5	今後も、個人情報の扱いは十分気を付けていきたい。		
	④保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話も落ち着いて聞く	3	正しい日本語・敬語で話すことを今一度見直していきたい。		
	⑤保護者からのクレームには、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡・報告・相談をする	3.2	都度、報告はしあっている。		
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.8	任せてしまう事も多くあった。	2.8	皆明るい且社会的で外部への印象はとても良いと思う。この地域は多くの自然が残されている。もっともっと生かして欲しい。地域を見学してみよう。地域行事に参加しよう。教職員同士で施設見学等するなど工夫が必要。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関について理解している	2.2	園外での活動を楽しみたいのでもっと理解していきたい。		
	③地域開放や子育て支援について、具体的な形や内容を理解している	2.1	町内での活動にも参加することで子育てを理解していきたい。		
6. 研修と研究	①自分の保育の在り方や悩みについて、他の教師または主任と話し合う	2.6	相談しやすい。また独自の研修体制での学びが多い。	3.0	教員の能力アップは大事かなと思う。子どもたちにとって先生の存在はとても大きくその影響はとても大きいです。辞めてしまう人が多いと保護者は不安になる。先生方が楽しく仕事出来るように何かできないか。今後も精一杯研修と研究を続けてください。アンケート結果より職員がどのような思いで日々勤務しているか気になるところがある。園の教職員同士のコミュニケーション意識が高まっている様に思える。研修を重ねることで、保育の質が高まり園に対する信頼が深まると思うので時間を生み出すことが大変だと考えるが研修を大切にしてください。
	②園の遊具や教材について様々な利用方法について研究している	2.4	戸外では、安全に楽しく遊べるよう立ち位置に気を付けている。		
	③保育の専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などに関心がある	2.9	趣味や読書などから保育につなげていきたい。		